

# 接頭辞 RE の機能

—— rapprocher の場合 ——

佐々木 香 理

## 1. はじめに

本研究は接頭辞 RE の本質的機能を解明する研究の一環である<sup>(1)</sup>。山本 (2012)、佐々木 (2013, 2014) では Franckel (1989, 1997) の指摘に基づき、認知動詞 *reconnaître*, *relire*, *retrouver*, *remarquer* について検討し、次のような発話操作を経る際に RE を付加することを指摘した。以下では認知主体を X と呼んでいる。

1. あらかじめ、発話者は認知対象を「X が元は認識した (していた) もの」や「X が認識するべきもの」または「X が認識するはずのもの」として構築している。
2. 事行の生起以前には、X はそうした認知対象を認識していない不安定なあり方 (*position non stabilisée*) にある。
3. 発話者が構築した認知対象を X が認識することにより、安定したあり方 (*position stabilisée*) に移行することを表す際に RE を動詞に付加する。

本稿では、認知動詞以外の動詞の RE の機能について検討し、この仮説の補強・修正を行う。また、上の論考で明らかにしきれなかった概念「安定したあり方」、「不安定なあり方」をより明確にすることを目指す。本研究では、認知動詞ではない *rapprocher* の RE の機能について検討し、まず、第 2 章で RE を付加する前の動詞 *approcher* と必要に応じ比較対照することにより<sup>(2)</sup>、*rapprocher* の使用条件を明らかにする。また *rapprocher* を用いる場合に発話者が行う発話操作を明らかにし、RE の機能に関する仮説を提案する。次に、その仮

説を裏付けるために、第3章で否定文の発話を考察する。本稿では、2つの動詞が共通してとる他動詞構文〈X *approcher/rapprocher* Y de Z〉と〈X *s'approcher/se rapprocher* de Z〉の発話例を主に考察する<sup>(3)</sup>。

## 2. *rapprocher* の使用条件

Z は場所や時期または状態を表す。本章では Z の意味特徴に応じて、「空間的接近」(2.1)と「時間的接近」(2.2)そして「観念的接近」(2.3)に分けて考察する<sup>(4)</sup>。

### 2.1. 空間的接近

辞書の記述や実例の観察から、X が Y を Z に近づけることを表す場合は *approcher* を用いることがわかる<sup>(5)</sup>。例えば、(1 a) では X が自分の手 (Y) を相手の顔 (Z) に近づけることを表している。また Z は、状況・文脈から明らかでない場合は表示しないことがある。(1 b) では聞き手 (X) に対してランプ (Y) を尋ねてきた友人の *Papillon* (Z) に近づけることを指示している。

- (1) a. *J'ai envie de te toucher, dit-elle. Mais tandis qu'elle *approchait* la main de son visage, il se raidit et lui saisit fermement le poignet.* (WARD, J. K. 2010, *La Confrérie de la Dague Noire*, t.3. *L'Amant furieux* : 194)
- b. *Papillon! Non, c'est pas vrai! (. . .) *Approche* la lampe, Boule de Neige, que je voie la gueule de mon pote.*

(CHARRIÈRE, H. 1969, *Papillon* : 69)

一方、*rapprocher* は、既に Z に近い Y をさらに近づけること (*mettre plus près*) を表すようである。(2 a) では X が顔 (Y) を見ていた画面 (Z) にさらに近づけたことを、(2 b) では X が試験管 (Y) を自分の側 (Z) にさらに近づけたことを、それぞれ表している。

- (2) a. *J'ai examiné l'écran en quête d'un détail, n'importe lequel, qui sorte de l'ordinaire. (. . .) *J'ai rapproché* mon visage de l'écran au point d'en*

sentir la chaleur. (COBEN, H. 2001, *Ne le dis à personne* : 45)

- b. Nous observions le tube, M. Deshimaru et moi. (...) *J'ai rapproché un peu plus le tube à essai.* (OGAWA, Y. 1999, *L'Annuaire* : 23)

このことから、*rapprocher* の RE は、従来、RE の本質的機能とされてきた「反復」を表しているように思われる。ところが (3) のような、Y を初めて Z に近づける場面でも *rapprocher* を用いることがあるため、「反復」では説明が不十分である。この例は袋の中身を吟味するために袋 (Y) をランプ (Z) に近づけることを表している。

- (3) «Pourriez-vous identifier les objets que contient ce sac? (...) Examinez-les simplement à travers le plastique.» Docilement, Dolores *rapprocha* le sac de la lampe et étudia son contenu.

(MACDONALD, P. 1995, *Une femme sous surveillance*)

結論を先取りして言うと、「Y が Z に近いというあり方」(以下では、位置、局面、状態などを括り「あり方」と呼ぶ) に発話者があらかじめ何らかの価値付けをしている。そして、Y を Z に近づけることにより、そのあり方が実現することを表す場合に *rapprocher* を用いる。

例えば (3) では、「Y が Z に近いというあり方」に目標達成に向けて「しかるべきあり方」という価値付けを発話者が行っている。具体的には、袋の中身を調べるためには袋がランプに近くにある必要がある。当初、Y は Z から離れており、目標達成に向けて「しかるべきあり方」にない。そうしたあり方から、Y を Z に近づけることにより「しかるべきあり方」が実現することを *rapprocher* を用いて表すのである。

この観点から (2) を捉え直すと、*rapprocher* の使用は次のように説明することができる。「Y (顔、試験管) が Z (画面、X) に近いというあり方」は目標 (情報の取得、試験管の中身の吟味) の達成に向けて「しかるべきあり方」である。当初、X が Y を Z に近づけたものの「しかるべきあり方」には至っていない。Y を Z にさらに近づけることにより「しかるべきあり方」が実現することを表すため *rapprocher* を用いるのである。

さらに、X と Y が同一である場合は、Y を *se* で表し Z を添えて〈X *s'approcher/se rapprocher de Z*〉という形式の発話を構成する。辞書の記述や実例の観察から、X が意図的に Z に近づくことを表す場合は *s'approcher* を用いることがわかる<sup>(6)</sup>。(4 a) は家から逃げる際に X がドア (Z) に近づいたことを表している。一方、*se rapprocher* を用いる場合は、(4 b) のように既に近い Z に X がさらに近づくこと (*venir plus près*) を表すようである。そのとき、接近が意図的であるか否かの区別は含意されない。それは、後で詳しく見るように、*se rapprocher* は気象現象や時期といった意図的に移動するとは考えにくい主体も X に用いることがあるためである。

- (4) a. Ce n'est pas la fumée, ce sont les bruits qui m'ont alerté. Je *me suis approché* de ma porte. J'ai mis ma main. Elle était bouillante.

(*Libération*, 2005/9/5)

- b. On frappa à la porte. C'est lui! songea-t-elle. Elle se précipita puis s'arrêta brusquement. (. . .) – Mika! Ouvre! Je sais que tu es là, Mika! Cette voix? Non, ce n'était pas possible! – Keisuke! Mika *se rapprocha* de la porte. (AKAGAWA, J. 1978, *Meurtres pour tuer le temps* : 190)

上で指摘したことと同様に、(4 b) では「X が Z に近いというあり方」に目標達成に向けて「しかるべきあり方」という価値付けをあらかじめ発話者が行っている。当初、X は Z から離れた場所において「しかるべきあり方」にならない。そうしたあり方から、X が Z に近づくことで、「しかるべきあり方」が実現することを表している。具体的には、Mika (X) はドア (Z) に近づいたものの、ドアを叩く相手を確認するために「しかるべきあり方」には至っていない。そこで Mika がドアにさらに近づくことで「しかるべきあり方」が実現したことを表している。

また、次の (5) は聞き手 (X) が発話者 (Z) に初めて近づく場面での発話である。(5 a) は大道芸人が歩行者たちにショーの始まりを告げている場面で、*s'approcher* を用いて聞き手 (X) に対し発話者 (Z) に近づくよう促している。一方、*se rapprocher* を用いた (5 b) は読み聞かせをするために教師が

生徒たちを呼び集めている場面である。(5 b) の *se rapprocher* は、単に聞き手 (X) が発話者 (Z) との距離を縮めることを表しているのではない。「X が Z に近いというあり方」は目標 (読み聞かせ) の達成に向けて「しかるべきあり方」である。当初、X は Z から離れており「しかるべきあり方」にない。そのようなあり方から Z に近づくことで、「しかるべきあり方」を実現させるように X を促しているのである。

(5) a. *Approchez-vous, approchez-vous, c'est bientôt l'heure de la criée.*

(*Ouest France*, 2015/6/4)

b. *Allez rapprochez-vous de moi, les enfants!* (*Ouest France*, 2015/8/19)

さらに、*se rapprocher* は *orage*, *tempête* といった気象現象が X となることがある。一方、*s'approcher* は X の意図的接近を表すため、そのような主体が X である場合は不自然となり<sup>(7)</sup>、*approcher* を自動詞で用いる。次の (6) は嵐や雷雨 (X) が発話現場 (Z) に近づくことを表している。*approcher* は X の Z への接近を客観的に述べる場合に用いられ、一方、*se rapprocher* は X の Z への接近を発話者が期待していることを表す文脈で用いられることがある。(6 b) は気象観測好きの人物が語ったもので、雷雨 (X) の発話者 (Z) への接近を期待している。そして、「雷雨 (X) が発話者 (Z) に近いというあり方」は雷雨の観測という目標達成に向けて「しかるべきあり方」であり、それは雷雨が発話者に近づくことで実現される。

(6) a. *Une autre tempête approche, indiqua-t-il en pointant du doigt le ciel menaçant.* (GEMMELL, D. 2002, *Renégats* : 227)

b. *En fonction du développement des cellules orageuses, je décide de mon itinéraire. Le matériel (. . .) est toujours prêt dans la voiture, équipée d'un détecteur de foudre qui me sert à savoir si l'orage se rapproche ou s'éloigne de moi.* (*Le Progrès*, 2009/3/28)

ところで、発話者が行う価値付けは「しかるべきあり方」に限られない。次の (7) のように X の Z への接近を発話者が危惧していることを表す文脈でも *se rapprocher* を用いることがある。この例では「X が Z に近いというあり

方」に「憂慮すべきあり方」という価値付けを発話者が行っている。(7 a) はブラヴェ川近郊にある水源保護地域へのごみ処理施設の拡張計画に反対する住民が述べたものである。「ごみ処理施設 (X) がブラヴェ川 (Z) に近いというあり方」は飲み水が汚染される恐れがあるため「憂慮すべきあり方」という価値付けを発話者が行っている。(7 b, c) についても同様である。「オオカミ (X) が都市 (Z) に近いというあり方」や「ハリケーン (X) が発話者 (Z) に近いというあり方」は「憂慮すべきあり方」である。そして、そうしたあり方は X (ごみ処理施設, オオカミ, ハリケーン) が Z (ブラヴェ川, 都市, 発話者) に迫ってくることで実現するため *se rapprocher* を用いるのである。

- (7) a. Le site *se rapprochant* du Blavet, il menace notre alimentation en eau potable. (*cchennebont.com/?p=215*)
- b. Depuis quelques années et après la faillite des entreprises de découpe de bois qui les (= les loups) chassaient, ils (= les loups) *se rapprochent* des grandes villes de la région. (*Le Point*, 1998/12/19)
- c. Mon baromètre à moi, c'est le grand chêne devant ma fenêtre, (. . .). La tempête *se rapproche* car il bouge de plus en plus dangereusement, secoué par de grosses rafales de vent. (*Le Point*, 2012/10/29)

## 2.2. 時間的接近

*rapprocher* は、未来のある時期を表す Z を従え、「時間的接近」を表すことがある<sup>(8)</sup>。

2.1. と同様に、*rapprocher* を用いる場合は、「Y が Z に近いというあり方」に発話者があらかじめ何らかの価値付けをしている。そして *rapprocher* は (8) のような Y の Z への到達を期待する文脈で多く用いられる。そのとき Z は目標として機能しており、目標への到達には、その直前にあるというあり方が必要である。つまり、「Y が Z に近いというあり方」に目標到達に向けて「しかるべきあり方」という価値付けを発話者が行っているのである。(8 a) は遺伝子解析装置「次世代シーケンサー」についての記事である。個人の遺伝子解

析が可能であることは、個別化医療の実現につながるため、様々な解析装置が開発されている。この例では、次世代シーケンサー (X) のおかげで我々 (Y) が個人の遺伝子解析が可能になる日 (Z) に近づいていることが述べられている。(8b) はイラク・イスラム軍から解放されたジャーナリストが述べたものである。人質に取られた場合は、解放されることを信じて辛抱するよう呼びかけているもので、日の経過 (X) によって人質 (Y) が解放 (Z) に近づくことを語っている。

(8) a. Ces équipements nous *rapprochent* du jour où l'ADN de chaque être humain pourra être décrypté. (*Le Monde*, 2010/10/16)

b. Quand vous êtes otage il faut tenir et se dire que chaque jour qui passe vous *rapproche* de la fin. (*Libération*, 2004/12/23)

いずれの例においても、Z (個人の遺伝子解析が可能なる日、解放) は目標であり、「Y が Z に近いというあり方」に目標到達に向けて「しかるべきあり方」という価値付けを発話者が行っている。そして、現状では Y は Z から離れた時点において「しかるべきあり方」にない。X が Y を Z に近づけることで「しかるべきあり方」が実現することを表すため *rapprocher* を用いる。

そして、X が未来のある時期 Z に近づくことを表す場合は〈X se *rapprocher* de Z〉という形式の発話を構成する。(8) と同様に、se *rapprocher* は X の Z への到達を期待する文脈で多く用いられている。(9) はパソコンがテレビと同程度に家庭に普及するかという質問にスティーヴ・ジョブズが答えたものである。アップル社の CEO で話題になっているような Z を目指すジョブズにとって、「パソコンが家庭の中心になる日 (Z) に我々 (X) が近いというあり方」は目標到達に向けて「しかるべきあり方」である。そうしたあり方が X が Z に近づくことで実現することを表すため se *rapprocher* を用いるのである。

(9) C'est déjà en cours! Mais il est évident que nous *rapprochons* du jour où l'ordinateur sera au cœur de toutes les maisons. (*Le Point*, 2000/9/15)

さらに、se *rapprocher* の X が時期を表すこともある。一方、s'*approcher* は、X が時期である場合の使用は不自然となり、*approcher* を自動詞で用いる。ap-

procher は X が Z に接近することを客観的に述べる場合に用いられ、次の (10 a) では引退 (X) がサッカー選手 (Z) に近づいていることを表している。一方、*se rapprocher* は X の Z への到達を期待する場合に多く用いられる。(10 b) は政権崩壊 (X) がアサド政権 (Z) に迫っていることをファビウス外務大臣が語ったものである。欧米諸国はアサド政権打倒に向けて反政府派を支援している。そして、アサド政権打倒を目指す欧米諸国にとって「政権崩壊 (X) がアサド政権 (Z) に近いというあり方」は目標到達に向けて「しかるべきあり方」である。

(10) a. Je viens d'avoir 30 ans, je sais que la fin *approche*.

(*Le Matin*, 2015/2/1)

b. “La fin *se rapproche* pour Bachar el-Assad”, a renchéri dimanche Laurent Fabius. (*Le Point*, 2012/12/20)

ところで、次の (11) のように、X の Z への到達を危惧する文脈でも *se rapprocher* を用いることがある。(11 a) はレーシングドライバーのセバスチャン・オリビエ・ボーテのインタビュー記事である。年齢の高さ（インタビュー時には 28 歳）が不安材料となり、ボーテはインタビューの時点では F1 にデビューしていない。そして、今シーズンにデビューするかどうかについて答える中で、自分 (X) が通常引退を考える 30 代 (Z) に迫っていることを表すのに *se rapprocher* を用いている。また (11 b) では冬 (X) が Adélaïde (Z) に近づくことを語っている。

(11) a. Pour la F 1, soit il faudra attendre 2008, soit ça ne se fera pas. La fenêtre de tir se réduit. Je *me rapproche* de la trentaine et je ne crois pas qu'il y ait beaucoup de pilotes qui soient passés en F 1 après trente ans. (*L'Équipe*, 2007/5/19)

b. Adélaïde vivait dans la chaleur de l'Australie, mais elle doit rejoindre sa famille en France pour ses vieux jours. Plus l'hiver *se rapproche*, et moins elle aime le froid et la neige. Jusqu'à devenir allergique aux flocons et aux rires des enfants. (*Le Progrès*, 2013/12/17)

いずれの例に関しても、「X が Z に近いというあり方」に「憂慮すべきあり方」という価値付けを発話者が行っている。それは、F1 にデビューできる時間が限られてきている“La fenêtre de tir se réduit.”という発言や冬が近づいてくるにつれ寒さや雪が好きではなくなるといった記述から読み取ることができる。そして、X の Z への接近によって「憂慮すべきあり方」が実現することを *se rapprocher* で表している。

### 2.3. 観念的接近

*rapprocher* は、X が Y を Z と親密にすることや X と Z が親密になることを表す場合がある。(12 a) は浮浪児の犯罪の防止に取り組む団体についての記事で、団体 (X) が浮浪児たち (Y) を家族 (Z) と和解させることを表している。また (12 b) は石油会社トタル (X) が油田の共同開発のために中国 (Z) と親密になることを表している。

(12) a. A Marseille, une association s'est créée pour les (=les enfants des rues) accueillir, dialoguer avec eux, les arracher à la délinquance, les *rapprocher* de leur famille (. . .). (*Le Point*, 1999/10/1)

b. Total *se rapproche* de la Chine car elle sera le plus grand consommateur mondial d'énergie. (. . .) On ne sera pas toujours d'accord, mais je préfère être partenaire plutôt que d'entrer dans une concurrence frontale.

(*Le Monde*, 2010/2/12)

いずれの例についても、「X や Y が Z と親しいというあり方」は目標（浮浪児の犯罪防止、油田の共同開発）の達成に向けて「しかるべきあり方」である。当初、Y は Z と離別状態または無関係な状態にあり「しかるべきあり方」にない。そうしたあり方から、Y を Z を近づけることや X が Z に近づくことで「しかるべきあり方」が実現することを *rapprocher* が表している。

さらに、*rapprocher* は X が Y を Z と関連付けることや X が Z と類似していることを表す場合もある。(13 a) では生徒の興味を引くためには、数学 (Y) を現実世界 (Z) に関連づける必要があることを数学者が述べている。ま

た (13 b) は手芸用品店ユザワヤの経営者が業績好調の要因について述べたもので、ユザワヤの成功 (Y) はファストファッションの成功 (Z) に結びつけられるべきものであると語っている。さらに (13 c) ではインテリアの色合い (X) がファッションのそれ (Z) と似ているという話である<sup>(9)</sup>。

(13) a. Pour intéresser les élèves, il faut *rapprocher* les mathématiques du réel.

(Ouest France, 2014/6/25)

b. Son succès est à *rapprocher* de celui des magasins de fast-fashion. «Ils produisent en grandes quantités des vêtements aux formes simples, ajoute M. Funato. Les acheteurs ne veulent pas être habillés comme les autres. Alors ils personnalisent.» (Le Monde, 2010/5/21)

c. Les couleurs dans la déco *se rapprochent* de celles de la mode. (. . .).  
Quand on utilise beaucoup de rouge dans les vêtements, on les retrouve dans la maison. (Le Monde, 2003/3/22)

(13 a) では「数学 (Y) が現実世界 (Z) と関連があるというあり方」は目標 (生徒の興味を引くこと) の達成に向けて「しかるべきあり方」である。また (13 b) では、最近、人気を博しているファストファッションの服を自分でアレンジするのが流行っており、そうした客の利用によりユザワヤは大成功を取めている。そのように、ファストファッションの成功がユザワヤの成功に寄与している現実を踏まえれば、「ユザワヤの成功 (Y) がファストファッションの成功 (Z) と関連があるというあり方」は「しかるべきあり方」である。さらに (13 c) に関しては、現在、アクセントウォールの使用が広がり、ファッションで流行している色が壁の色の選択に影響を与えている。そうした現実を踏まえれば、「インテリアで用いられる色がファッションで用いられる色に関連しているというあり方」は「しかるべきあり方」である。そして、当初、X や Y は Z と関連がなく「しかるべきあり方」にない。そうしたあり方から、Y を Z に近づけることや X が Z に近づくことで「しかるべきあり方」が実現することを表すため *rapprocher* を用いるのである。

以上のことから、(se) *rapprocher* を用いる場合は、「X や Y が Z に近いと

いうあり方」に発話者があらかじめ何らかの価値付けをしていると言える。例えば、目標達成に向けてまたは現実に照らして「しかるべきあり方」や「憂慮されるあり方」などがある。そして、X が Y を Z に近づけたり X が Z に近づいたりすることで「しかるべきあり方」や「憂慮されるあり方」が実現することを表すのである。

この仮説を裏付けるために、次の第 3 章では否定文の発話を考察する。

### 3. 否定文

単に X や Y の Z への接近がないことを表す場合は *approcher* を用いる。(14 a) は足 (Y) を湯たんぽ (Z) に近づけなかったことを、(14 b) はほぼ日常的に現れていた豹 (X) が集落 (Z) に近づき過ぎることはなかったことを、それぞれ表している。

(14) a. Elle avait les jambes chaudes. (. . .), et elle *n'approchait jamais* les jambes de la bouillotte.

(KAWABATA, Y. 1968, *Le grondement de la montagne* : 68)

b. Dans ce hameau, le fauve fait quasiment partie de la vie quotidienne.  
«Avant, elle passait de temps en temps, mais elle (= la panthère) *ne s'approchait jamais trop*, (. . .).» (*Libération*, 2004/7/12)

一方, *rapprocher* を用いる場合は、「X や Y が Z に近いというあり方」に発話者があらかじめ何らかの価値付けをしている。そして、X や Y の Z への接近がないことで、そのあり方が実現しないことを表す場合に否定文で発話を構成する。(15 a) は SNCF の運営の地方分権化に反対リストを起こした労働組合について述べたものである。利用者に組合の要求を納得してもらい、組合側に立ってもらうためには「利用者 (Y) が組合 (Z) に近いというあり方」は「しかるべきあり方」である。しかし、ストによる迷惑が Y を Z に近づけることを妨げ、「しかるべきあり方」が実現しないことを表している。また (15 b) は倒産の危機に瀕している企業 Fima の労働組合代表者が述べたものであ

る。「倒産企業の引き取り人 (X) が Fima (Z) に近いというあり方」は従業員の雇用の存続に向けて「しかるべきあり方」である。そして、仮に X が Z に近づかなければ、そうしたあり方が実現しないという話である。さらに (15 c) はブラヴェ川の近隣住民がごみ処理施設の拡張計画に反対を訴える中で述べたものである。ごみ処理施設の拡張により飲み水が汚染される恐れがあるため「ごみ処理施設 (X) がブラヴェ川 (Z) に近いというあり方」は住民にとって「憂慮すべきあり方」である。そして、X が Z に近づかないことで、そうしたあり方が実現しないよう望んでいるという話である。

(15) a. (. . .) les usagers comprennent souvent ces revendications, d'autant plus qu'il nous arrive de combattre aux côtés des syndicats. Mais la grève n'est souvent pas le meilleur moyen. Cela gêne les usagers, et ça *ne les rapproche pas* des cheminots. (*La Dépêche du Midi*, 2013/6/13)

b. Aujourd'hui, il est clair que, si un éventuel repreneur *ne se rapproche pas* rapidement de Fima, c'est fini. (*Le Progrès*, 2012/10/2)

c. Nous ne sommes pas contre l'extension, (. . .). Nous souhaitons simplement que celle-ci soit limitée et *ne se rapproche pas* du Blavet.

(*Ouest France*, 2014/9/15)

以上のことから、*rapprocher* を用いる場合は、「X や Y が Z に近いというあり方」に発話者があらかじめ何らかの価値付けをしていることが確認できた。

#### 4. おわりに

本稿では、*approcher* と *rapprocher* が競合する他動詞構文を主に考察し、以下の点を指摘した。

- ・〈X *approcher* Y de Z/X *s'approcher* de Z〉という形式の発話を用いる場合、X が意図的に Y を Z に近づけることや X が意図的に Z に近づくことを表そうと発話者は意図している。
- ・〈X *rapprocher* Y de Z/X *se rapprocher* de Z〉という形式の発話を用いる場合、

発話者は次の発話操作を踏まえ、X が Y を Z に近づけることや X が Z に近づくことを表そうと意図している。

1. 「X や Y が Z に近いというあり方」にあらかじめ何らかの価値付けを発話者がしている。「あり方」としては、目標達成に向けてまたは現実に照らして「しかるべきあり方」や「憂慮されるあり方」などがある。
2. 当初、X や Y は Z と離れた位置や離別状態または無関係な状態にあり「しかるべきあり方」や「憂慮されるあり方」にない。
3. X が Y を Z に近づけたり、X が Z に近づいたりすることで「しかるべきあり方」や「憂慮されるあり方」が実現することを表すため (se) *rapprocher* を用いる。

最後に、冒頭で言及した「安定したあり方」や「不安定なあり方」と本研究で指摘した事柄の関係を見る。「安定したあり方」は「X や Y が Z に近いというあり方」に発話者があらかじめ価値付けを行ったあり方である。本研究では、目標達成・到達に向けて、または現実に照らして「しかるべきあり方」や「憂慮されるあり方」があることを指摘した。そうしたあり方は X が Z に近づくことや Y を Z に近づけることで実現する。一方、「不安定なあり方」は「安定したあり方」にないこと、つまり、X や Y が Z と離れた位置や離別状態または無関係な状態にあることである。

従来、RE の本質的機能とされてきた「反復」は上の発話操作を行う際に生じうる価値の1つである。また、山本 (2011, 2012) で扱った授与を表す用法の *remettre* や拒絶を表す用法の *repousser* の RE の機能についても、上の仮説を適用し説明することができる。

RE が付加された様々な動詞の考察を通し、本稿で提示した仮説の妥当性の検証や補強・修正することを今後の課題とする。

#### 注

- (1) *re*, *r*, *ré* をまとめて RE と表記する。
- (2) *approcher* は Z を直接目的補語として従え〈X *approcher* Z〉という構文をとることもある。その場合の Z は権力者や容易には近づけないと見なされる人物であ

り、次の例は X が大統領 (Z) と知り合うことを表している。

(...) nous avons pu *approcher* le président cubain lors d'une conférence de presse.

(*Le Point*, 1996/1/27)

また *rapprocher* は Y と Z を一括して直接目的補語として表現することがある。次の例ではモンブラントンネル (X) のおかげでフランスとイタリアの住民 (Y + Z) の仲が親密になることを表している。

(...) il (= le tunnel du Mont-Blanc) *rapproche* les habitants de deux pays, car ces 11,6 km entre Chamonix et Courmayeur permettent de gagner ... 60 kilomètres.

(*La Côte*, 2015/7/27)

- (3) コーパスとして、映画のシナリオ、演劇の脚本、小説、新聞記事、Web サイトの記述を使用した。
- (4) 空間・時間以外の観念的領域に属す接近を「観念的接近」と呼ぶ。
- (5) Y が他者を表す以下のような使用例は *approcher* でも *rapprocher* でも稀である。それは、物を扱うように、他人の意志とは無関係に Z に近づけることは、普通、はばかれるといった語用論的な要因による。
- (i) Aux commentaires, devant la crèche, Rose Billy, une résidante, qui par maintes fois a soulevé les petits, les *a approchés* des animaux pour qu'ils puissent les toucher, les caresser. (*Le Courrier de l'Ouest*, 2013/12/23)
- (ii) Bref, je n'avais pas envie de le toucher, mais il me *rapprocha* de lui de force en me prenant par l'épaule. (...) (MURAKAMI, R. 2003, *Miso Soupe* : 28)
- (6) X の意図的な接近であるかどうかは前提とせず、X の Z への接近を表す場合は、〈X *approcher* de Z〉という形式の発話を構成する。例えば (i) はパリに向かう TGV に乗っている発話者 (X) がマント (Z) に近づいていることを電話の相手に伝えている。また Z は状況・文脈から明らかな場合は表示しないことがある。(ii) では聞き手 (X) が発話者の側 (Z) に近づかないよう警告している。
- (i) Maintenant, on *approche* de Mantes.

(DUREURRE, B. 2001, *Le voyage en France* : 197)

(ii) Si vous *approchez*, je crie. (BUNUEL, L. 1967, *Belle de jour*)

- (7) ただし、次の例のように、あたかも意志を持った生き物のように気象現象が接近することを表す場合は *s'approcher* の使用が可能になる。Laure l'entendait rôder という記述から Laure が *orange* を生き物のように捉えていることがわかる。この例は、曾我祐典先生 (関西学院大学名誉教授) からご提供いただいた。

Depuis quelques jours, les grillons étaient revenus et couvraient de leur bruit le clapotis de l'eau. Il faisait très chaud. Un orange que l'on avait annoncé pour le milieu de la nuit *s'approchait*. Laure l'entendait rôder et espérait qu'il ne tarderait plus à éclater.

(WIAZEMSKY, A. 1987, *L'île* : 107)

- (8) *approcher* に関しては、Z が時期である場合は〈X *approcher de Z*〉という形式の発話を構成する。

J'*approche* de la quarantaine, je ne vais pas faire les nuits pendant des années.

(*Le Monde*, 2010/10/19)

- (9) *approcher* に関しても〈X *s'approcher de Z*〉の形式の発話を用いる際に、X が Z と類似の度合いが増していることを表す場合がある。多くの場合、形態や様態が類似していることを表し、次の例ではスピードバドミントンのラケットがスクワッシュのラケットにますます似てきていることを表している。

La raquette *s'approche* de celle du squash (...). (*Ouest France*, 2015/2/16)

### 主要参考文献

FRANCKEL, J.-J. (1989), *Etude de quelques marqueurs aspectuels du français*, Droz.

FRANCKEL, J.-J. (1997), "Approche de l'identité d'un préverbe à travers l'analyse des variations sémantiques des unités préverbées", *French Language Studies* 7, 47-68.

佐々木香理 (2013) 「接頭辞 RE の本質的機能－reconnaître の場合－」『年報・フランス研究』47 (関西学院大学フランス学会), 13-22.

佐々木香理 (2014) 「接頭辞 RE の本質的機能－retrouver の場合－」『年報・フランス研究』48 (関西学院大学フランス学会), 31-43.

山本香理 (2011) 「接頭辞 RE の機能－remettre の場合－」『年報・フランス研究』45 (関西学院大学フランス学会), 85-94.

山本香理 (2012) 「接頭辞 RE の本質的機能」『年報・フランス研究』46 (関西学院大学フランス学会), 153-164.

(文学部非常勤講師)